

宮城県感染症発生動向調査情報(第14週)

宮城県【平成25年04月11日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

— 2013.4.1 ~ 4.7 ・ 第14週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第11週	第12週	第13週	第14週
水痘	6 1.20	5 0.50	11 2.20	3 1.50	4 1.33	9 1.80	1 0.50	28 1.08	67 1.16	1,096	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		1 0.10			1 0.33	2 0.40	10 5.00	3 0.12	17 0.29	360	レ →	○ →	レ →	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	26 5.20	52 5.20	21 4.20	12 6.00	23 7.67	22 4.40	10 5.00	203 7.81	369 6.36	5,585	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病					1 0.33	1 0.20		3 0.12	5 0.09	146	→	→	→	
伝染性紅斑	2 0.40	4 0.40				1 0.20	7 3.50		14 0.24	116	→	→	→	
突発性発しん	3 0.60	5 0.50	5 1.00	1 0.50	3 1.00	2 0.40	1 0.50	23 0.88	43 0.74	458	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	17 2.13	17 1.13	16 2.00	6 2.00	30 6.00	18 2.25	11 2.75	44 1.05	159 1.71	14,567	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱			2 0.40					15 0.58	17 0.29	229	→	○ →	レ →	
流行性角結膜炎	3 3.00					1 1.00		1 0.17	5 0.42	26	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 2.80	27 2.70	16 3.20	1 0.50	1 0.33	7 1.40		20 0.77	86 1.48	1,510	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎								1 0.20	1 0.08	4	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	2 2.00					1 1.00	4 0.80	295	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		1 0.10				1 0.20		8 0.31	10 0.17	189	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	7				4	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向 《週報の詳細》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	川崎病	1												
	不明発疹症							2						

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 大崎管内 男性1名、女性1名
 - 石巻管内 男性1名(第13週)
 - 仙台管内 男性1名(第13週)、男性2名、女性2名(第13週)、女性3名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O 91)
 - 塩釜管内 女性1名
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名
 - ウイルス性肝炎(B型)
 - 仙台管内 女性1名
 - 後天性免疫不全症候群
 - 仙台管内 男性1名
 - 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 塩釜管内 女性1名
 - 仙台管内 女性1名
 - 破傷風
 - 石巻管内 男性1名
 - 梅毒
 - 仙台管内 女性2名
 - 風しん
 - 塩釜管内 男性1名(第13週、臨床診断例)、女性1名(第13週、検査診断例)
 - 仙台管内 男性2名(臨床診断例)
 - 仙台管内 男性1名(第13週、臨床診断例)
 - 仙台管内 男性2名(臨床診断例)、男性1名(検査診断例)
 - 仙台管内 女性1名(臨床診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 3例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【風しん】
 塩釜管内と仙台管内で報告が相次いでいる。中には接触感染事例があり、今後拡大する可能性もあるので注意を要する。

【伝染性紅斑】
 気仙沼管内で警報継続中。

【流行性耳下腺炎】
 気仙沼管内で注意報値を超えた。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第12週採取分 (3.18～3.24)	第13週採取分 (3.25～3.31)	第14週採取分 (4.1～4.7)
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	0件	1件
RSウイルス	0件	5件	1件
アデノウイルス	1件	1件	1件
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件

【全数把握対象疾患の変更について】

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則」の一部改正により、平成25年4月1日より、五類感染症の対象疾患として①侵襲性インフルエンザ菌感染症、②侵襲性髄膜炎菌感染症、③侵襲性肺炎球菌感染症が新たに加わりました。そして、これらの疾患と重複を避けるために、細菌性髄膜炎からこれらの疾病を除くとともに、髄膜炎菌性髄膜炎が削除されました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)											総数 (人)
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
2013年 第6週	19.0	29.5	19.6	4.3	4.5	6.8	6.3	4.3	3.3	1.2	1.1	2,036
第7週	21.9	26.4	15.3	4.2	5.2	7.2	7.2	5.0	3.2	2.2	2.3	1,146
第8週	21.2	27.7	17.6	3.7	5.2	6.8	5.4	4.9	3.6	2.6	1.5	1,008
第9週	23.1	27.3	20.4	3.8	3.2	6.6	6.4	3.8	2.5	1.3	1.6	761
第10週	22.5	29.2	17.3	4.3	5.0	7.5	4.5	3.9	2.9	2.0	1.1	561
第11週	20.3	31.7	11.2	3.7	6.1	8.8	4.3	4.8	3.7	3.5	1.9	375
第12週	21.6	30.0	14.1	3.8	0.9	6.1	8.0	4.7	4.7	1.9	4.2	213
第13週	20.5	22.0	16.1	4.4	8.8	7.8	6.3	6.3	3.4	2.9	1.5	205
第14週	25.2	24.5	8.8	3.8	3.8	15.1	8.2	3.8	3.1	1.9	1.9	159

インフルエンザ定点
 インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。
 宮城県: 51定点
 仙台市: 42定点
 合計: 93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第12週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では石川県(18.63)、愛知県(18.30)、山口県(17.09)、岐阜県(16.16)、宮崎県(14.46)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は814例と第9週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は2週連続で減少した。佐賀県(1.04)、福岡県(0.75)、宮崎県(0.67)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は2週連続で減少した。石川県(7.34)、富山県(4.62)、山形県(4.03)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は2週連続で減少した。大分県(15.81)、島根県(14.39)、福井県(12.73)が多い。水痘: 報告数は増加した。宮崎県(2.86)、沖縄県(2.68)、山口県(2.60)が多い。手足口病: 報告数は減少した。沖縄県(1.35)、島根県(1.09)、福岡県(1.08)が多い。伝染性紅斑: 報告数は増加した。富山県(0.62)、新潟県(0.30)、宮城県(0.16)が多い。百日咳: 報告数は増加した。福島県(0.07)、群馬県(0.05)、新潟県(0.05)、大阪府(0.05)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は増加した。長崎県(0.32)、富山県(0.10)、沖縄県(0.09)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は増加した。福井県(1.41)、秋田県(0.89)、岩手県(0.75)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は2週連続で増加した。福島県(4.29)、青森県(1.83)、宮城県(1.58)が多い。